

# デザイン教育に活かすデザイン および造形の実践的研究

芸術学部  
生活環境デザイン学科  
教授  
栗田 融



## 研究シーズの紹介

本研究は、具体的にデザインを行うことや造形作品を制作し  
 展示会へ出品することを実践して得た知見を造形デザイン  
 教育（主に空間演出デザイン）に活かすことを目的にしている。  
 デザインは社会との関係が不可欠であることから、実践的な  
 活動を通じて直面する課題はリアルであり、その解決を図る経  
 験は、デザイン教育にとって有効である。また、造形デザインを

学ぼううえで必要となる基礎造形の教育においては、教育者自  
 身が造形経験を積むことによって、よりの確なアドバイスが与え  
 られると考えている。さらに、地域や社会から造形体験や空間  
 演出に関する相談を受けた場合、そこに学生を参画させるこ  
 とで、相談者や学生それぞれにとってメリットを生む効果も実  
 感してきている。



### 空間演出技術

- あらゆる施設（空間）の演出が可能です。
- 空間を媒体にしたコミュニケーションができます。



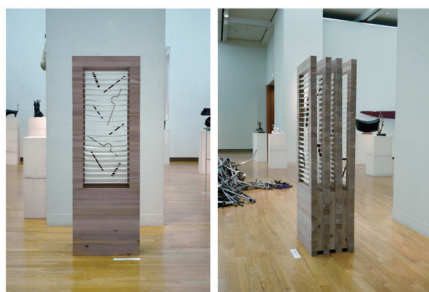
### 造形体験

- 造形ワークショップの開催ができます。
- 造形教育に関する教材開発ができます。

### 空間デザインの実践



### 造形作品の制作・展示会出品



デザイン教育への還元  
 施設（空間）の演出  
 造形ワークショップ  
 造形教育の教材開発

## 期待される活用シーン

- 現有施設の空間演出をしたい  
 がわからない
- 施設利用者に造形体験の機  
 会を提供したい



これまでの実績をもとに、季節の  
 空間演出を計画したり、造形  
 ワークショップの運営をお手伝い  
 できます。



- 造形教育に関する教材開発  
 をしたい
- 生徒や子供に造形体験の機  
 会を与えたい



これまでの実績をもとに、造形  
 教育における教材開発や造形  
 ワークショップ開催のお手伝い  
 ができます。



### その他の研究テーマ

仮設空間に関する研究  
 展示会を通じた交流に関する研究